

目標 (6年後の姿)	取組	現在の課題について	来年度（令和2年度）取り組みたいこと
1 支え合い・助け合い	相互理解・人材育成	<p>&lt;他者との関わりの拒否・地域関係の希薄&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ひとり暮らし高齢者や外国人には、声掛けを拒否される。普段の近所付き合い、人間関係が難しく、民生委員等支援者も疲弊。</li> <li>○マンション、アパートの住人は事情があったり、地域とつながりたくないという人がいる。どうつながれるか。日中不在で地域を知る機会もない。</li> <li>○他人を寄せつけない孤立している人をどうしたらよいか。</li> <li>○高齢者は若いときの姿と違う自分を見せたくないのを会を催しても出てこれない。人に面倒をかけられたくない。</li> <li>○自治会長と連絡を取るよう心がけているが、個人情報扱いが難しい。いろいろ言われる。世帯票も拒否される。</li> <li>○地域柄支え合いができない、互助が成立しない。お互いさまの感覚が薄い。</li> <li>○近隣でもつきあいがいい。頼みやすい・声をかけやすい隣近所との関係がない。有事の際に動けるように顔見知りになる必要がある。</li> <li>○地域のことをどのように思っているのか、どうしていきたいのかわからない。</li> </ul> <p>&lt;担い手不足・組織運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分がやらなくても誰かがやるだろう」、「自分も協力しないから誰かには頼らない」という意識から孤立した子育てになっている人も多い。意識を変えていくために、役員や地域活動は難儀ばかりではなく、感謝、慰労で地域の助け合う関係が出来るなど、いいこともたくさんあることを伝えていく必要がある。</li> <li>○地区役員の仕事が大変というイメージだけで尻ごみされる。</li> <li>○住民の高齢化と減少は仕方ない。町内会の統合はいずれの話。</li> <li>○地域幹部など一部の人だけが一生懸命、声をかけても参加する人がいない。</li> <li>○行事、防災訓練等の参加者の固定化⇒高齢化⇒人数の減少⇒後継者不足。</li> <li>○担い手となり得る世代は地域にいるが、役員は引き受けてくれない。担い手不足は高齢化が原因ではなく、個人主義が多くなったため。</li> <li>○役員を引き受けてくれても、力量や感覚・考え方が異なる。さいの神など一つの行事を実施するにしてもスキルのある人材が自治会におらず、行事の継続・引継ぎができない。</li> <li>○企業との協力体制はある。地元企業から昔からのつながりで、町内会会費をもらっている。運営についてもアドバイスをもらっている。</li> </ul> <p>&lt;住宅・環境&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○近くのスーパーが閉鎖する噂があり、そうなった時買い物難民が増える。</li> <li>○高齢者、ひとり暮らし多く、鍵がかかっているのが困る。</li> <li>○家主不在で動物だけ飼っている家がある。臭い、不衛生、樹木が伸び放題の問題がある。警察には民事不介入と言われ、市議会でも発言してもらったこともあるが進展なし。</li> <li>○マンション内にも高齢者は多い、マンションの高齢化。</li> <li>○安心キットでマンション訪問しても家族の様子は変化している。</li> </ul>	<p>&lt;意識醸成&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○普段から隣近所で声をかけ合う関係をつくっておく。まずはあいさつから。自分から声をかけるとそこから関係ができて他の話ができる。子どもは簡単だが大人は無視される。</li> <li>○ごみ捨ての際に近所の人に声掛けをする。若い人でも返してくれる。自分が話しかけてくれると嬉しい。</li> <li>○子どものいる家庭に地域で支えあっている姿や町内の活動の様子を広報誌で見せる。情報を得たり、提供するために様々な機会をとらえる。</li> </ul> <p>&lt;見守り活動・生活支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ひとり暮らし、高齢者のみ世帯への除雪支援。将来的にボランティア組織化ができればよい。</li> <li>○町内会・自治会で草取り・雪かき・ゴミ出し支援等のボランティア登録、支援希望者とのマッチング。高齢者支援。</li> <li>○電気交換やごみ捨てなど有料での御用聞き。</li> <li>○自治会と民生委員のコラボで緊急医療キット配布のフォローアップ訪問、新規対象者抽出などの見直し、災害時要援護者名簿の登録について毎年定期的な申請の啓発を行う。</li> <li>○高齢化対策として、ごみ出し支援事業の確立、民生委員との連携で民生委員守り訪問と班別支援体制の確立。</li> <li>○地域が広い、集まるための移動支援を検討する。</li> </ul> <p>&lt;担い手養成・組織運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○PTAの何らかの役につくことはお互いさまの意識が芽生えるきっかけになる。</li> <li>○町内会の役員を輪番にして経験してもらう機会を作る。地域のリーダーを育てる。</li> <li>○朝の通学路の見守り等、役員以外や若い人からも協力をしてもらう。</li> <li>○懇親会などの機会を有効に使う。</li> <li>○民生委員同士での情報共有。町内会と連携。</li> <li>○自治会役員・民生委員の交流定例会を継続していきたい。</li> <li>○民生委員、コミ協、自治会長との関係づくり、連絡を密にする。</li> <li>○ボランティアの発掘は大変だが社協・包括と連携しながら育成する。</li> <li>○自治会行事を単独ではなく隣接自治会と合同開催する。</li> <li>○自治会ごとに行う行事の他に、自治会全体をまとめる意味で1つの行事をコミュニティ協議会が中心となり企画する。民生委員中心では難しい。地区全体でなくても、手上げ式で参加自治会を募り実施してみる。</li> <li>○地域格差を無くすため、コミ協を中心に事業活動を活発化する。</li> <li>○行事を複数自治会の合同開催とした場合、中心となる自治会を毎年順番にすれば、個人主義が多くなったとしても、さいの神等の伝統も継承していける。</li> <li>○福祉委員の育成と勉強会を開催する。</li> </ul>
2 交流の場づくり	多世代交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行事の参加者の顔ぶれが同じ。</li> <li>○世帯数が少ない自治会では単独でできない。</li> <li>○地域の集まり・イベントの会場まで遠く、多く参加できない。</li> <li>○既存の集まりでは、仲間ができあがり入りにくい。</li> <li>○子どもを巻き込めるような企画はお世話係が大変。</li> <li>○マンション住民がマンション内自治組織で完結してしまっていて、コミ協などの地区との交流がないところがある。</li> <li>○マンション、アパート、ひとり暮らしの方を地域の町内行事等に引っ張り出すのが難しい。賃貸アパートは世帯名がわからない。交流不足。</li> <li>○特に転入住民の多い地域で、小中学生の親世代と「地域」の関係が希薄になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所、隣人の顔がわかるしくみ作り。子どもを通してのしくみ作り。</li> <li>○「赤ちゃんお祝会」の継続・拡大。</li> <li>○ふれあい事業や敬老会の自治会等の継続。</li> <li>○地区社協と自治・町内会、民生委員との福祉についての交流を深めたい。</li> <li>○世代間交流のため、若い人との話し合いの場を設ける。</li> <li>○歳末事業等のイベントに子どもの活躍できる場面があると保護者も楽しめる。</li> <li>○三世代の交流。子ども・孫のためなら参加する。</li> <li>○多世代交流の場を町内などの小規模で充実していく。</li> <li>○高齢の独居の人との地域との関わりを進めたい。</li> <li>○若い人もどんどん地域に入って欲しい。PTAの方には子育てが終わっても関わって欲しい。</li> </ul>



目標 (6年度の実)	取組	現在の課題について	来年度(令和2年度)取り組みたいこと
3 活動場所	居場所 情報提供 (ふれあいの場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茶の間人数が増えている。部屋が狭い。場所の問題。</li> <li>○活用できる場所がない。</li> <li>○現在利用しているコミュニティハウスでは、坂道の途中にあることと、階段を使って会場に入ることが高齢者には負担。</li> <li>○茶の間が3団体から6団体に増えたが、参加者が減っている所もある。</li> <li>○茶の間を充実させたいが、価値観の違いがある。</li> <li>○お茶の間は、スタッフの人員が不足している。</li> <li>○空き家の所有者が判明し、猫カフェ・音楽室にしている。</li> <li>○茶の間の会場が少ないことと、スタッフが足りない。</li> <li>○地域の茶の間の場所が欲しい。</li> <li>○発足した自治会で実施している茶の間が継続できている。</li> <li>○新しいマンションでは談話室などで茶の間もしているようだ。人の出入りがある地区で地域交流がないと顔が分からない。防犯対策も必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神社の境内や学校を会場に防災などの勉強会。</li> <li>○小学校あと地5月で完成する。利用方法、メインになる新しい所の茶の間の利用方法。</li> <li>○茶の間を継続したい。</li> <li>○地域の茶の間、健幸サロンクラブは続けて行きたいが、「場所」を早く一定にしたい。</li> <li>○高齢者、子ども会等、世代交流ができる場を求める。</li> <li>○地区社協で地域の茶の間の協力を得て、全体の活動に広めていく。集いの会を開催していく。</li> <li>○地域の茶の間に自由に参加できる事のPR活動。</li> <li>○地域の茶の間の充実。歩いて行ける距離=各町内につくりたい。</li> <li>○ふれあいの場所の確保のため動きたい、茶の間拡大にもつながる。</li> <li>○地域の茶の間の拡大、自治会別に開催について検討する。</li> <li>○空き家対策。茶の間を開く場所へと所有者と相談したりして検討していく。</li> </ul>
4 健康	介護 健康維持 予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康体操をしたいが場所がない、集まるための拠点がなく。集まりたい人たちはいるのに、歩いて行けるところに場所がない。集まる拠点のマップを作成中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フレイル予防と健康寿命延伸の活動。</li> <li>○貯筋運動の継続と勉強会の実施、老人クラブの支援。</li> </ul>
5 安心・安全	安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き家も使えるような物件ではない。</li> <li>○災害時の避難の判断が難しい。高齢者は避難しない。大雨等は2Fにいる方がよいこともある。</li> <li>○ひとり暮らし、高齢者のみ世帯の他、空き家が増えている。</li> <li>○見守りが必要な方が安心して避難できる場所がほしい (旧小学校の体育館は地震の時、津波の時は屋上まで上がれるようになった)。</li> <li>○防災訓練では、ボーイスカウト・ガールスカウトが参加。 また、外国人支援のために市の国際課職員が参加している。何か活用できないか。</li> <li>○除雪。</li> <li>○災害時に声をかけられる関係が薄い。自治会の動きが場所によってバラバラ。</li> <li>○災害は少なくてもよいが、有事に実際に動けるか不安。</li> <li>○子どもの安全。道が入りくんでいる。道路の見守り。</li> <li>○ハザードマップ。昭和大橋のたもとは危ない。</li> <li>○殺人事件があって防犯カメラが結構増えた。街灯も増加した。</li> <li>○防犯カメラの設置。</li> <li>○地域全体が集まり、みんなの関心も高い「防災」訓練を工夫できたらいいのだが。</li> <li>○災害時の独居高齢者の支援に各自治会の担当者が決まっているが、具体的な避難や支援の方策がない。</li> <li>○空地の雑草処理に苦慮している。土地の所有者、管理者、行政に相談する等が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き家の持ち主を把握したい。防犯や防災の関係、動物臭が気になる家もある。</li> <li>○要援護者名簿の方と普段の接点がない。少ない。</li> <li>○防犯の呼びかけで子どもたちの見守りが増えたけど、増やしたい。交流ができる。</li> <li>○犬などの散歩のついでにパトロールの腕章をつけて見守りをしてもらう。</li> <li>○災害時対応は、まず自分自身を守る。 近くの避難場所を伝えるなど、声掛けをし合うよう、町内に周知を続けて行きたい。</li> <li>○防災訓練。小学校・中学校の参加により、各世代の参加を促す。</li> <li>○防災訓練に地域の「大人」が昨年度より多く参加するよう今年メインテーマを設ける。 非常食の紹介や試食会などをする等工夫する。</li> <li>○災害時の歩行困難な方の具体的な支援方法を検討する。本人と、場所や道具などを話し合せて決めておく、周知する。本人と色々な会話をすることにも意義がある。</li> <li>○風水害時のためのボートやライフジャケットを医療情報キットのように、必要な家から申請してもらい各家庭に配布してはどうか。</li> <li>○留守、外出、出かけられない人のために、無事の確認の旗などの印がほしい。</li> <li>○地域の宝をきれいにする・守るためにクリーン作戦を行う。 やすらぎ提のように整備したい。今は魚も食べられるようになった。 活動を通して市民の健康づくりにも活かし、地域の魅力を発信したい。</li> <li>○防災リュック。ほぼ完了したと思われる。</li> </ul>
6 その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題はいつも一緒、解決できていない。</li> <li>○住環境は優れている。公民館、病院、公園など”モノ”はそろっている。</li> <li>○福祉計画・活動計画が地域に広がっていない。立てることが目標になっている。</li> <li>○コミ協の統合を行ったが、今後どのように活動していくのか考えていく必要がある。</li> <li>○役員のなり手がいない、声かけを続ける。 国家公務員は退職したら福祉関係の仕事をするなどの制度化しては？。</li> <li>○駅に近く、交通事情も良い住みよい地域だが、一方で、中学校が遠く中央区なのに東区まで行かないといけな。交通量も多く自転車も利用不可。</li> <li>○地域のシンボルがない。</li> <li>○一部町内市道で植栽管理が不十分。</li> <li>○ごみ袋の有料化で家計の負担が大きい。ごみ回収ルールの問題。高齢者のごみ分別問題。</li> <li>○外国の方も多く住んでいるが、ごみの分別が難しい。雇っている会社に連絡して対応したケースもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域と行政が一体となって具現化する。</li> <li>○行政と新潟交通との協議となるが、地域の声聴き、買い物支援を行うため小回りの利くバス路線の充実を行う。</li> <li>○ごみの分別を行って10年以上経ているので、過去と現在は状況が違う。再評価し、見直しすべきものは見直す。</li> <li>○地域との協働はわかっているので、行政は市民目線で解決を模索してほしい。</li> <li>○地区内に「寺町」があるので、もう少し町おこしに一役立つのではないかと。</li> <li>○茶の間、ひまわりクラブ支援、ふれあいスクール、防災訓練等、今実施している事業継続。</li> <li>○2つの地区を統合一体化していくが、今後両地区で話し合い、未来の計画を立てていきたい。</li> <li>○マンションの建設も続いており今後も人口増加が見込まれるため、地域住民が中学校新設を望んでいるかアンケート調査を行いたい。</li> </ul>



令和元年度 地域福祉座談会（地域福祉活動計画）全地区意見集約表（令和元年11月22日（金）開催）

地区	現在の課題について	来年度（令和2年度）取り組みたいこと
1 入舟	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一部の人だけが一生けん命、声をかけても参加する人がいない。</li> <li>○空き家も使えるような物件ではない。</li> <li>○お互（町内）の顔がみえない。町内行事も少なくなって来ている。</li> <li>○地域幹部だけが一生けん命。ついてくる人が少ない（いない）。</li> <li>○家庭内のつながりも薄い。世代間の会話がな。</li> <li>○ゴミ回収の問題。高齢者のゴミ分別問題。</li> <li>○行事を開催しても参加者が少ない（減って行く）。</li> <li>○近隣でもつきあいがな。</li> <li>○課題はいつも一緒！！ ⇒ 解決できていない！！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所（隣人）の顔がわかるしくみ作り。⇒ 子どもを通してのしくみ作り。</li> <li>○行事に沢山の人が参加出来る仕組みづくり。</li> <li>○「赤ちゃんお祝会」の継続・拡大。</li> </ul>
2 栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時の避難の判断が難しい。高齢者は避難しない。大雨等は2Fにいる方がよいこともある。</li> <li>○行事、防災訓練等の参加者の固定化 ⇒ 高齢化 ⇒ 人数の減少。</li> <li>○一人暮らし、高齢者のみ世帯の他、空き家が増えている。</li> <li>○町内会の役員の成り手が少なくなっている。高齢化や60歳以上の現役世帯が増えたことによる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝の通学路の見守り等、役員以外や若い人からも協力を持ってもらう（もらいたい）登録は現在30人だが実質20人くらい。</li> <li>○一人暮らし、高齢者のみ世帯への除雪支援。（将来的にボランティアの組織化までできれば）</li> <li>○ふれあい事業や敬老会の自治会等の継続。</li> <li>○中学生のごみ出し支援を以前していたが中学生が減少しており今はしていない。何かできればよい。</li> <li>○空き家の持ち主を把握したい。個人情報関係もあり難しいと思うが…。防犯や防災の関係、ネコ等出入り自由でにおいが気になる家もある。</li> <li>○要援護者名簿の方と普段の接点がない。少ない。</li> <li>○神社の境内や学校を会場に勉強会（防災など）。</li> </ul>
3 湊	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高令者、一人暮らし多い（鍵がかかっているので困る）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼びりん鳴らしても聞こえない。</li> <li>・タクシーが来たが鍵が開かない。声かけられなくて困った。</li> <li>・災害対x者になっていれば家族にTEL出きる。</li> <li>・見守りの仕方（具体策）。</li> </ul> </li> <li>○茶の間人数が増。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートして頂いて良い（助けられている）。</li> <li>・茶の間部屋狭い。場所の問題。</li> <li>・毎週水4回、隔週木2回実施。</li> </ul> </li> <li>○ゴミ出しルールについて。</li> <li>○買いもののサポート。農家の人が車で販売している。</li> <li>○町内の行事が少ない。（二葉町は活発） 世代交代が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校あと地5月完成。利用方法、メインになる新しい所の茶の間利用方法。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけやすくなる（近くになるので）。</li> <li>・新しい集まりやすい場所となる。</li> <li>・小林幸子を呼んで欲しい（オープニングで…）。</li> <li>・声掛けするのは民生委員が誘いやすいので願います。</li> <li>・新しい集会場で今までのノウハウを生かす。</li> </ul> </li> <li>○新しいマンションとの関わり（39世帯、子供のいる世帯、一人世帯、二人世帯、障がい世帯…）。</li> </ul>
4 豊照	<ul style="list-style-type: none"> <li>○孤立している人（知識人でプライドの高い人。お金もあるし世話になりたくない）をどうしたらよいか。他人をよせつけない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の似たような立場（趣味）でつながりがあることが良い。他地域で関わることもある。</li> <li>・出てくる居場所を作る。</li> <li>・その人にしかできないことを見つけ、役わり意識をもたせる。</li> </ul> </li> <li>○見守り⇒まわりを回っている話を聴いてくれる人を見つける。</li> <li>○見守りが必要な方が安心して避難できる場所がほしい（旧豊照小学校の体育館は地震の時、津波の時は屋上まで上がれるようになった）。</li> <li>○住吉町や並木町や、新潟地震の時水没したところが避難道路になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防犯の呼びかけで子どもたちの見守りが増えたけど、増やしたい。お孫さんのいらっしやる人は、子どもから元気をもらっているし、交流ができる。</li> <li>○茶の間を継続したい。</li> <li>○犬などの散歩のついでにパトロールの腕章をつけて見守りをしてもらう。</li> <li>○旧豊照のクリーン作戦など事業所つばさの人達が多く参加して交流をはかった。</li> <li>○地域の外国籍の方も、地域の防災訓練に参加して、避難場所を知ったり交流ができ意識が高まった。</li> <li>○普段から隣近所で声をかけ合う関係をつくっておく。</li> </ul>



令和元年度 地域福祉座談会（地域福祉活動計画）全地区意見集約表（令和元年11月22日（金）開催）

	地区	現在の課題について	来年度（令和2年度）取り組みたいこと
5	大畑	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者世帯が増加傾向。</li> <li>○互助が成立しない（若者が…、地域柄（古町）支え合いができない）。</li> <li>○高齢者は特にごみの分別が難しい。</li> <li>○ごみ袋の有料化で家計の負担が大きい。</li> <li>○後継者不足。</li> <li>○働き方改革で70歳くらいまで働くとすると、地域の役員になり手がいない。</li> <li>○働き方と地域活性化とのバランスが難しい。</li> <li>○すでに高齢化社会と言われて20年くらい経過しているにもかかわらず、成果が出ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に負担を求めるのは限界があるので、予算を組んで行政がしっかり行う。</li> <li>○古町の活性化、具体的な活動を行えば底辺が広がる。</li> <li>○地域と行政が一体となって具現化する。</li> <li>○ごみの分別を行って10年以上経ているので、過去と現在は状況が違う。再評価し、見直しすべきものは見直す。</li> <li>○行政と新潟交通との協議となるが、地域の声を聴き、買い物支援を行うため小回りの利くバス路線の充実を行う。</li> <li>○自治・町内会の役員に対して、法の改正し役員に対して報酬を提供する。そのことにより働かずとも雇用の場として解決する。</li> <li>○地域との協働はわかっているので、行政は市民目線で解決を模索してほしい。</li> </ul>
6	新潟（旭水）含む	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活用できる場所がない。</li> <li>○西堀ローサの利用が不可能なので、地域の茶の間は、中央区社協交流スペースにて継続して行わなければならない。</li> <li>○現在利用している寄居コミュニティハウスでは、坂道の途中にあることと、階段を使って会場に入ることが高齢者には負担。</li> <li>○お茶の間は、スタッフの人員が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の茶の間、健幸サロンクラブは続けて行きたいが、「場所」を早く一定にしたい。</li> <li>○新潟消防署跡地をひまわりクラブ、コミュニティハウス、お風呂等まとまった施設を早く実現してもらいたい。</li> <li>○高齢者、子ども会等、世代交流ができる場を求める。</li> <li>○図書館が入った建物があると、多世代が出入りできるのではないか。</li> <li>○新潟地区内に「寺町」があるので、もう少し町おこしに一役立つのではないか。</li> </ul>
7	礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内会長＋民生委員を代行している（4町内）。 ⇒自治会長と連絡を取るように心がけているが、個人情報の扱いが難しい。</li> <li>○賃貸アパートは世帯名がわからない。</li> <li>○ひとり暮らし高齢者や外国人には、声掛けを拒否される。 ⇒普段の近所付き合い、人間関係が難しく、民生委員等支援者も疲弊。</li> <li>○集合住宅、ひとり暮らしの方を地域に引っ張り出すのが難しい。</li> <li>○企業との協力体制はある。地元企業から昔からのつながりで、町内会会費をもらっている。運営についてもアドバイスをもらっている（例：NT21津波避難ビル協力など）。</li> <li>○敬老会は上1町内とコミ協とで2回開催していたが、今は上1町内だけ。</li> <li>○町内会、コミ協との関係が難しく、とぼっちを受けするのは住民。</li> <li>○小学生が少ないので、子ども会が成立しない。 ⇒マンションでは子どもが多いところもあるが、町内会に参加していない。</li> <li>○クロスパル防災訓練では、ボーイスカウト・ガールスカウトが参加。また、外国人支援のために市の国際課職員が参加している。何か活用できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まずはあいさつから。めげずに自分から声をかけること。 かければ子供は答えてくれる。そこから関係ができて他の話ができる。 ⇒子どもは簡単だけど、大人には無視される。</li> <li>○民生委員は春と秋に朝の挨拶運動をしている。</li> <li>○ごみ捨ての際に近所の人に声掛けをする。 ⇒若い人でも返してくれる。自分が話しかけてくれると嬉しい。</li> <li>○災害時対応は、まず自分自身を守る。近くの避難場所を伝えるなど、声掛けをし合うよう、町内に周知することを続けて行きたい。</li> <li>○民生委員、コミ協、自治会長との関係づくり、連絡を密にする。</li> </ul>



令和元年度 地域福祉座談会（地域福祉活動計画）全地区意見集約表（令和元年11月22日（金）開催）

地区	現在の課題について	来年度（令和2年度）取り組みたいこと
8 鏡淵	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーダー（役員）の高齢化。</li> <li>○若い人がいない。 →勤務があり、65歳過ぎても働いているため、高齢になっても町内等の催し等に参加できない。</li> <li>○行事の参加者の顔ぶれが同じ。</li> <li>○世帯数が少ない自治会では単独でできない。</li> <li>○頼みやすい・声をかけやすい隣近所の関係。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鏡淵地区社協で地域の茶の間の協力を得て、全体の活動に広めていく（集いの会を開催していく）。</li> <li>○地域の茶の間に自由に参加できる事のPR活動。</li> <li>○地域が広いと、集まるための移動支援を検討する。</li> <li>○地域格差を無くすため、コミ協を中心に事業活動を活発化する。</li> <li>○安心カード（民生委員中心）の事業を継続。</li> <li>○歩こう会を行いたい。</li> </ul>
9 白山	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見栄があるのか若い時の姿と違う自分を見せたくないの、会を催しても出てこれない。</li> <li>○人に面倒をかけられたくない。プライドが高すぎる高齢者。</li> <li>○民生委員がなかなか見つからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区社協と自治・町内会、民生委員との福祉についての交流を深めたい。</li> </ul>
10 浜浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲が広い中で、各自治会の住民参加率に（差がみられる）。</li> <li>○信濃町のウオロクが閉鎖する噂があり、そうなった際買い物難民が増える。</li> <li>○除雪。</li> <li>○災害時に声をかけられる関係が薄い。 →自治会の動きが場所によってバラバラ。</li> <li>○住環境は優れている。公民館、病院、公園など”モノ”はそろっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○除雪のグループが広い範囲で出来上がってくると良い。</li> <li>○有料での御用聞き（電気交換やゴミ捨てなど）。</li> </ul>
11 関屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茶の間が3団体から6団体に増えたが、参加者が減っている所もある。</li> <li>○茶の間を充実させたいが、価値観の違いがある。</li> <li>○世代間の交流がなく、世代交代が困難。</li> <li>○支える人の高齢化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世代間交流のため、若い人との話し合いの場を設ける。</li> <li>○地域の公園を有効活用する。</li> <li>○コミ協の在り方として、地区の将来をどうしたいか議論する。</li> </ul>
12 有明台	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若い人もどんどん地域に入って欲しい。 PTAの方には子育てが終わっても関わって欲しい。</li> <li>○お互いさまの感覚が薄い。</li> <li>○集合住宅の住人とのかわりが薄い。</li> <li>○自治会やコミ協役員、民生委員等、後継者がいない。</li> <li>○災害は少なくてよいが、有事に実際に動けるか不安。</li> <li>○有事の際に動けるように顔見知りになる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今実施している事業の継続（茶の間、ひまわりクラブ支援、ふれあいスクール、防災訓練）。</li> <li>○子どもやその家庭にも、地域で支えあっている姿を見せる（広報誌で町内で活動している様子を見てもらう）。</li> <li>○歳末事業等のイベントに子どもの活躍できる場面があると保護者も楽しめる。</li> <li>○小学生の保護者が全員PTAの何らかの役につくことは悪いことでなく、お互いさまの意識が芽生えるきっかけになる。</li> <li>○町内会の役員を輪番にして経験してもらう機会をつくる。</li> <li>○声かけ運動。</li> <li>○酒を飲む機会を有効に使う。</li> <li>○担い手の発掘。</li> </ul>



令和元年度 地域福祉座談会（地域福祉活動計画）全地区意見集約表（令和元年11月22日（金）開催）

地区	現在の課題について	来年度（令和2年度）取り組みたいこと
13 南万代	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢の独居の人との地域との関わりを進めたい。</li> <li>○福祉計画・活動計画が地域に広がっていない。立てることが目標になっている。</li> <li>○地域の集まり・イベントの会場まで遠く、多く参加できない。</li> <li>○企画の内容が合わない（ニーズはいろいろ）。</li> <li>○既存の集まりでは、仲間ができあがり入りにくい。</li> <li>○子どもを巻き込めるような企画はお世話係が大変。</li> <li>○（地区役員の）仕事が大変というイメージだけで尻ごみされる。</li> <li>○人と人の知り合うきっかけがあれば続くのだが。</li> <li>○新しく企画・イベントを立ち上げるのは難しい。必要とはわかっている。</li> <li>○マンション：地域とつながりたくない、アパート：事情がある→どうつながれるか。寝るためだけに帰ってくる。日中不在で地域を知る機会もない。</li> <li>○個人情報デリケート、いろいろ言われる。世帯表も拒否される。</li> <li>○安心キットでマンション訪問しても家族の様子は変化している。</li> <li>○一生懸命さが伝わらない。</li> <li>○地域のことをどのように思っているのか、どうしていききたいのかわからない。</li> <li>○アパートはだれが住んでいるのかわからない。</li> <li>○「回覧板はポストに入れて」と言う。</li> <li>○あいさつができない。関係がつかれない。</li> <li>○子どもの安全。道が入りくんでいる。道路の見守り。</li> <li>○ハザードマップ。昭和大橋のたもとは危ない。</li> <li>○顔見知りになる機会がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○顔が見えるまちづくりを根気よく続ける。</li> <li>○災害についての自治会の集まりについて、役員のみ。→各組長→むこう三軒両隣に広げて、企画・話し合いをする。</li> <li>○情報を得たり、提供するために様々な機会をとらえる。</li> <li>○民生委員同士での情報共有。町内会と連携。</li> <li>○三世代の交流。子ども・孫のためなら参加する。</li> <li>○小学校ふれあいスクール。土曜日にすると参加しやすい。</li> <li>○防災訓練。小学校・中学校の参加により、各世代の参加を促す。</li> <li>○ボランティアの育成（発掘が大変。どうしたら地域の中で活躍してもらえるか）。→社協・包括と連携しながら。</li> </ul>
14 万代	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き家の所有者が判明し、猫カフェ・音楽室にしている。</li> <li>○殺人事件があって防犯カメラが結構増えた。</li> <li>○街灯（防犯灯）は増加した。</li> <li>○外国人のゴミ出しは徹底していない。</li> <li>○セーフティスタッフは相変わらず不足している（自己申告）。</li> <li>○このグループだけでなく、全体的に高齢。</li> <li>○専門学校の生徒の取り入れは難しい。</li> <li>○住民の高齢化と減少は仕方ない。町内会の統合はいずれの話。</li> <li>○担い手不足はこれからの課題。</li> <li>○防犯カメラの設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若い人が興味を持てる行事を行いたい。</li> <li>○防犯カメラの設置（極力）。</li> <li>○セーフティスタッフを増やす。</li> <li>○地域のリーダーを育てる（どんなやり方ができるか）。</li> </ul>
15 長嶺	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内会・自治会で見守り・雪かき・ゴミ出し支援等に対して取り組みを進めてもらいたい。</li> <li>○町内会長・自治会長の個人的な考えで自治会の方向性が決められていることがある（回覧が回らないときがある）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内会・自治会でボランティア登録（例：草取り・雪かき・ゴミ出し支援）。</li> <li>○支援希望者とのマッチング。高齢者支援。</li> <li>○困り事緊急連絡先・相談先一覧表の作成→高齢者世帯に配布する。</li> </ul>
16 沼垂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○BRTの導入によりバスの便が悪くなった。</li> <li>○本馬越地区を新たに加えて沼垂コミ協となったが、今後どのように活動していくのか考えていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沼垂コミ協が沼垂地区と本馬越地区を一体にしていくが、今後両地区で話し合い、未来の計画を立てていきたい。</li> </ul>



令和元年度 地域福祉座談会（地域福祉活動計画）全地区意見集約表（令和元年11月22日（金）開催）

地区	現在の課題について	来年度（令和2年度）取り組みたいこと
17 鳥屋野	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特に転入してきた住民の多い地域で、小中学生の親世代と「地域」の関係が希薄になっている。</li> <li>○「自分がやらなくても誰かがやるだろう」という意識＝「自分も協力しないから、誰かには頼らない」と孤立した子育てになってしまっている人も多い（自己責任、迷惑をかけちゃいけないという意識）。</li> <li>⇒こうした意識を変えていくために、役員や地域の活動は難儀ばかりではない、人から感謝されたり、互いに慰労しあうことで地域の助け合う関係が出来るなど、いいこともたくさんあるということを伝えていく必要がある。</li> <li>○地域全体が集まり、みんなの関心も高い「防災」訓練を工夫できたらいいのだが…。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①防災訓練に地域の「大人」が昨年度より多く参加するように工夫する。 例）今年のメインテーマを設ける、非常食の紹介や試食会などをする等。</li> <li>②緊急医療キット配布の見直しを行う。 ・フォローアップ訪問の実施。 ・新規配布対象者の方の抽出。</li> <li>③災害時要援護者めいぼの登録⇒一定期間、「毎年〇月に申請の啓発をする」という取り組みを地域としてやっていくことで地域に根付くのではないか。</li> <li>②・③については自治会と民生委員のコラボで実施する。</li> <li>④子どもに誰かが声をかける地域にしよう「元気？」ケガしてたり元気ない顔していたら「どうしたの？」と大人同士がちょっと気に掛けるようにしたい。</li> </ul>
18 上山	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茶の間の会場が少ないことと、スタッフが足りない。</li> <li>○マンション住民がマンション内自治組織で完結してしまっていて、コミ協などの地区との交流がないところがある。</li> <li>○多世代交流の場が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の茶の間の充実。歩いて行ける距離＝各町内につくりたい。</li> <li>○多世代交流の場を小規模（町内）に充実していく。</li> </ul>
19 女池	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミ協会館ができた。</li> <li>○役員のなり手がいない・・・声かけを続ける。 ※国家公務員は退職したら福祉関係の仕事をするなどの制度化しては？。</li> <li>○災害時の独居高齢者の支援に各自治会の担当者が決まっているが、具体的な避難や支援の方策がない。</li> <li>○地域の茶の間の場所が欲しい。</li> <li>○健康体操をしたいが場所がない＝集まるための拠点が無い。 …集まりたい人たちはいるのに、歩いて行けるとところに場所がない。 集まる拠点のマップを作成中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時の歩行困難な方の具体的な支援方法を検討する。 本人と、場所や道具などを話し合っておく、周知する。本人といろいろな会話をすることにも意義がある。</li> <li>○風水害時のためのボートやライフジャケットを医療情報キットのように各家庭に配布してはどうか（必要な家から申請してもらう）。</li> <li>○無事であることの確認の為の旗とかの印がほしい（留守とか外出、出かけられない人のために）。</li> </ul>
20 上所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アパート、マンションの住む方との交流不足（町内行事に参加してもらいたい）。</li> <li>○お茶の間を開く場所がない。</li> <li>○高齢化（班長を担えない世帯、ゴミ出しが困難な世帯が増えている。自治会役員の成手が不足）。</li> <li>○戸建てとアパート住民の交流が困難である。</li> <li>○空地の雑草処理に苦慮（土地の所有者、管理者、行政に相談する）。</li> <li>○春の移動時期に引っ越しや違反ゴミが多く出される。</li> <li>○医療情報キット（28自治会のうち5自治会がやっていない）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多世代交流のための芋煮会の実施。</li> <li>○ふれあいの場所の確保のため動きたい（茶の間拡大にもつながる）。</li> <li>○防犯パトロールの実施。</li> <li>○高齢化対策…ゴミ出し支援事業の確立、民生委員との連携で民生委員守り訪問と班別支援体制の確立。</li> <li>○フレイル予防と健康寿命延伸の活動…貯筋運動の継続と勉強会の実施、老人クラブの支援。</li> <li>○地域の茶の間の拡大…自治会別に開催について検討する。</li> <li>○近くにポストがない地域がある、郵便局に相談する。</li> <li>○空き家対策⇒茶の間を開く場所へと所有者と相談したりして検討していく。</li> <li>○子どもの見守り活動を継続する。</li> </ul>



令和元年度 地域福祉座談会（地域福祉活動計画）全地区意見集約表（令和元年11月22日（金）開催）

地区	現在の課題について	来年度（令和2年度）取り組みたいこと
21 紫竹山	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駅に近く、交通事情も良い住みよい地域。 ⇒一方で、中学校が遠く中央区なのに東区まで行かないといけない。 交通量も多く自転車も利用不可。</li> <li>○自然があり良い所。 ⇒一方で鳥屋野湯については、「鳥屋野湯を一周できるように…」という話もあるが整備されていない。</li> <li>○発足した自治会で実施している茶の間が継続できている（紫竹山で2ヶ所目）。</li> <li>○新しいマンションでは談話室などで茶の間もしているようだ。 ⇒人の出入りがある地区で地域交流がないと顔が分からない。 防犯対策も必要。</li> <li>○外国の方も多く住んでいるが、ゴミの分別が難しい。 雇っている会社に連絡して対応したケースもある。</li> <li>○家主はおらずニワトリだけ飼っている家がある。臭いが気になり不衛生なことと、樹木が伸び放題になっている。 ⇒警察には民事不介入と言われている。市議会でも発言してもらったこともある（が進展なし）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民が中学校新設を望んでいるかアンケート調査を行いたい（マンションの建設も続いており今後も人口増加が見込まれる）。</li> <li>○地元の宝をきれいにする・守るためにクリーン作戦を行う。やすらぎ提のように整備したい。今は魚も食べられるようになった。 活動を通して市民の健康づくりにも活かし、地域の魅力を発信したい。</li> <li>○紫竹山のセントラルパークとして鳥屋野湯を発信したい。</li> </ul>
22 笹口	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミ協内で青少年部会をつくりたいが、問題がありできない。</li> <li>○コミ協で一軒家を借り交流の場を作りたいが、問題がありできない。</li> </ul> <p>【この地区の良いところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ほっとハウスがあり、地域活動を行っている。</li> <li>○PTAに限らず地域活動やクラブ活動を行っている。</li> <li>○専門学校生などの学生や若い人が多い。</li> <li>○駅に近い。</li> <li>○光のページェントなどで小学校と地域交流がある。</li> </ul> <p>【この地区の良くないところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のシンボルがない。</li> <li>○マンションが多い。</li> <li>○高齢者が多い（マンション内にも多い⇒マンションの高齢化）。</li> </ul> <p>【現在取り組んでいること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町内で8月頃に夏休みを利用したお祭りがあり、230人ほど参加がある。 町内の持出は約35万円。</li> <li>○日帰り旅行や新年会等を行っている。 町内持出は約15万円。</li> <li>○見守り活動を実施している。セーフティスタッフも若干増加した。</li> </ul> <p>【現在の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○マンションもコミ協に加入したことで、より交流が深くなった。</li> <li>○一部町内市道で植栽管理が不十分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見守り活動の継続。⇒町内全体で取り組んでいる。</li> <li>○防災訓練の継続。⇒東新潟中学校も防災訓練に参加するようになった。</li> <li>○防災リュック。⇒ほぼ完了したか？</li> <li>○子育て支援をどのように取り組むか、社協と相談し検討する。</li> <li>○フレイル運動推進を計画準備する。</li> <li>○福祉委員の育成と勉強会を開催する。</li> <li>○現在不足している消防団員の担い手を確保する。</li> </ul>
23 山潟	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会によって抱える課題は異なる。</li> <li>○自治会長の力量や感覚・考え方が異なりすぎる。</li> <li>○担い手となり得る世代は地域にいますが、役員は引き受けてくれない。担い手不足は高齢化が原因ではなく、個人主義が多くなったため。</li> <li>○役員を引き受けてくれても、力量や感覚・考え方が異なる。</li> <li>○さいの神など一つの行事を実施するにしてもスキルのある人材が自治会におらず、行事の継続・引継ぎができない。</li> <li>○自治会行事を単独開催し完結する地区と、合同開催する地区がある。</li> <li>○PTAなどの小学校役員や保護者と地区の交わりがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会ごとに行う行事の他に、自治会全体をまとめる意味で1つの行事を行う。 ⇒コミュニティ協議会が中心となり企画する（民生委員中心では難しい）。 地区全体でなくても、手上げ式で参加自治会を募り実施してみる。</li> <li>○行事を複数自治会の合同開催とした場合、中心となる自治会を毎年ローテーションすれば、個人主義が多くなったとしても、さいの神等の伝統も継承していけるのではないかと。</li> <li>○行事で地区内のつながりをつくることで、防災訓練や地域活動のスムーズな運営につなげたい。</li> <li>○令和元年12月16日に初めて開催する、自治会役員・民生委員の交流定例会を継続していきたい。</li> </ul>